



地本NEWS

2014年
3月13日
自治労北海道
網走地方本部
2014第3号

自治労産別統一闘争を意識した
取り組みを強化しよう！
春闘要求から年間闘争サイクル
を確立しよう！

第35回全国町村職総決起集会

2月21日に東京日比谷公園において総決起集会が開催されました。全国から800人が結集し、網走地本内からは10名が参加しました。本集会では春闘の開始と町村職の賃金改善、組織の強化と拡大、地方自治の確立をめざし全力で闘うことを決意、その後、国会周辺をデモ行進しました。集会前日には北海道同交流会、集会終了後には国会見学と激しい?!地本交流会が開催され、より一層の団結を誓い合いました。



集会終了後に訪問した「あいはらくみこ参議院議員」の事務所にて・・・この後は激しく交流か?!

★参加者からの感想★

▼私たちにはこんななたくさんの仲間がいるということを感じ、「1人は皆のために、皆は1人のために」一致団結し、「闘う」ということを肌で実感できた。こういう運動の積み重ねを経て権利を勝ち取ることがいかに大変か、そして私たち青年層は、将来中心となって組合運動を担う者として、この権利を守っていく番だということを、青年部運動を通して知識の浅い青年層に伝えたい。(有馬早紀・置戸町職労) ▼初めて参加させていただき、デモ行進、国会議事

堂見学等、見るもの、聞くもの全てが初めてでとても良い体験をさせていただきました。ありがとうございます。全国総決起集会の中で北海道団の数の多さに圧倒された。小さな町まちでも多く集まれば何かを変えていける強さを感じた。そのなかの一つの町として、小さなことでも一体となり団結して組合運動を取り組んでいきたい。(伊藤聖也・津別町職) ▼初めての参加でしたが、全国の仲間たちと共に団結しての行動は圧巻でした。我々の小さな活動でも全国に繋がっていることを再認識できた。今回の経験を後輩たちに伝え、より一層団結し活動していきたい。(砂金英樹・大空町職) ▼今回が初参加で不安な面もありましたが他の町村職の方々と交流する機会が多々あり、大変貴重な体験をさせていただきました感謝しています。交流会含め様々な意見に触れることができました。意見を交換することの大切さを知ることが出来たので今後の単組運動に活かしたいと思います。(縄風馬・佐呂間町職労) ▼現場で苦勞をしている多くの仲間が交流し、また、集会、デモ行進、請願行動とともに行動し、組織としての活動の大切さを感じた。ひとつひとつの運動を積み上げ、地方本部・道本部・中央本部へと繋がり大きな力になっていること。そして多くの仲間がともがなばっていることを改めて単組内で確認し、運動の底上げにつながるようにしたい。(立花良行・美幌町職労) ▼国会議事堂を仲間と共に見るたびに政治闘争の重要性、必要性を一層痛感させられます。まずは、統一地方選勝利に向け一層の団結を！総決起集会における「単組からの報告」の中では、各単組からさまざまな切実な課題が報告されていました。住民のためにしっかり働くことのできる職場環境づくりを最優先とする運動を地本内で一層進めなければ、と感じました。(安達直哉・地方本部)